

この報告書は、「宝永地震の災害教訓に関する検討会」において検討されたものである。執筆は、

(座長) 伊藤 和明 NPO 法人 防災情報機構会長 (元 NHK 解説委員)  
北原 糸子 国立歴史民俗博物館 客員教授  
村上 仁士 徳島大学 名誉教授  
倉地 克直 岡山大学文学部 教授  
松浦 律子 公益財団法人 地震予知総合研究振興会  
地震調査研究センター解析部 部長  
小山内信智 独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所  
土砂管理研究グループ長

の各委員及び

羽鳥徳太郎 元東京大学地震研究所講師 地震津波研究者  
松尾 裕治 香川大学 防災教育センター 特命教授  
塚本 明 三重大学人文学部文化学科 教授  
前田 正明 和歌山県立博物館 主任学芸員  
西山 昭仁 東京大学地震研究所 学術支援専門職員  
櫻井 成昭 大分県立歴史博物館 主任学芸員  
井上 公夫 一般財団法人砂防フロンティア整備推進機構 技師長  
阪本 尚生 印南町立印南中学校 教諭  
増田 豪 延岡市内藤記念館 主任学芸員

が行い、担当は以下のとおりである。

はじめに (伊藤和明)

第1章 宝永地震の地震像 (松浦律子)

- 第1節 沈み込むプレート境界の地震
- 第2節 南海トラフの大規模地震の特徴
- 第3節 宝永地震の震度分布
- 第4節 宝永地震による地殻変動
- 第5節 宝永地震による津波
- 第6節 宝永地震の地震像

## 第2章 宝永地震による被害とその後

第1節 宝永地震全体の被害（松浦律子）

第2節 各地の被害と救援や復興策（松浦律子）

第3節 津波災害の概観（羽鳥徳太郎）

## 第3章 各地の津波災害

第1節 四国の津波被害（村上仁士・松尾裕治）

コラム 「谷陵記」をめぐる二、三の問題（倉地克直）

コラム 宇賀家文書「宝永四亥年大變注進一卷」について（倉地克直）

第2節 三重県域における宝永地震の被害と記憶伝承（塚本明）

第3節 和歌山県域の津波被害と記憶伝承（前田正明）

コラム 来るべき南海トラフ巨大地震に備えて（阪本尚生）

第4節 大坂の津波被害（西山昭仁）

コラム 災害の伝承 大正橋の津波碑（西山昭仁）

第5節 中国・九州地方の地震津波の被害（倉地克直）（櫻井成昭）

コラム 延岡市域における宝永・安政地震の津波被害（増田豪）

## 第4章 地震と土砂災害（小山内信智・井上公夫）

第1節 宝永地震による土砂災害事例

第2節 他の地震との比較

第3節 海溝型巨大地震に対する留意点

## 第5章 城郭被害図にみる宝永地震（北原糸子）

第1節 宝永地震の城郭被害について

第2節 城郭被害と修復の手続き

第3節 絵図資料に残る諸藩の修復事例

おわりに（全委員・事務局）

なお、事務局の担当は以下のとおりである。

(事務局) 四日市正俊 内閣府普及啓発・連携担当  
三浦光一郎 内閣府普及啓発・連携担当  
渥美 洋行 内閣府普及啓発・連携担当

平成 26 年 3 月

内閣府政策統括官（防災担当）

本報告書のとりまとめは、東京海上日動リスクコンサルティング株式会社（TRC）に委託し、実施した。